

すごいで!

日本の城!!

～ 戦の時代、日本の城は

工夫がいっぱい～

豊島区立池袋本町小学校 3年

まつうら はるき

# もくじ

1. はじめに、どこでどうやって調べる?
2. 気になること、ぼくの予想
3. 城ってなに
4. 城の歴史
5. 地形と城
6. 秀吉と城
- 7~8. 大坂城
- 9~10. 城ができるまで
11. さまざまな縄張
12. 秀吉の大坂城
- 13~14. 本丸解説
15. 本丸のことをもっとくわしく知りたい!!
- 16~22. 天守
23. 魚虎
24. 御殿
25. 曲輪、土塁、庭園
26. (旧江戸城、土塁、橋)
- 27~28. 櫓
29. 門
30. 堀
31. 空堀、水堀
- 32~35. 石垣
36. 巨石を運んだ技術
37. 石にのこるマークは何?
38. 城をつくったのは大工さん
- 39~40. 名築城家
41. 日本の城なんでもナンバーワン!!
42. ぼくの理想の城郭
43. ぼくが住む豊島区に城はあったの?
44. 江戸時代の池袋村絵図
- 45~48. ぼくの近所でみつけたもの
49. まとめ
50. 資料、他



# はじめに

- ぼくが、小学2年生のころ、図書室で何かおもしろい本はないかなとさがしていた時に、たまたま手にとった歴史の本が好きになり、毎日たくさんの本を読みました。  
その中でも戦国時代の本が一番好きで、その時代のかっこいいお城についてももっとくわしく知りたくなり、今回調べる事にしました。

## どこで調べる？どうやって調べる？

- ぼくの家付近にある図書館で本をかりる。
  - 上池袋図書館
  - 池袋図書館
- 学校で使ってるクロームブックで調べる。
- 博物館や資料館へ行って調べる。
- ぼくの住んでいる近くにお城があれば実際にいって調べる。

# 気になる事

# ぼくの子想

- |                 |                                     |
|-----------------|-------------------------------------|
| ● 全国にある数        | ○ 1000城<br>P16→                     |
| ● へやの数          | ○ 20室<br>P24→                       |
| ● 大きさ・高さ        | ○ 1km × 1km くらい ○ 50m<br>P8・P24・P41 |
| ● 最古のお城が作られた年   | ○ きげんぜん500年<br>P4・P41→              |
| ● 一番新しい城が作られた年  | ○ 2015年<br>P41→                     |
| ● どれくらいのお金がかかるか | ○ 5000万円                            |
| ● どのお金で作ってるか    | ○ ぜい金                               |
| ● どんな人が住んでいたのか  | ○ 今の県知事みたいな人<br>P13・P24→            |
| ● 何人住んでいたのか     | ○ 50人くらい<br>P24→                    |
| ● どんなそばか        | ○ 大ほうか 20門くらい<br>P12~40→            |
| ● ぼくの家とのちがい     | ○ ちがう戸片が いっぱいありそう<br>P3~P40→        |
| ● 豊島区に城はあったのか   | ○ 3つくらいある<br>P43~P48                |
| ● 城は戦いでどう活用されたか | ○ じやうなどでのねらいうち<br>P11~P40           |
| ● どんな場所にあったか    | ○ 田丁の中心地<br>P5・P6・P18               |



# 城ってなに？

**城** しろ

- 昔、りょう主がいきから身を守ったり、力を示したりするために作った、かんじょうなたてもの。

日本の城は、ほり・石がき・天守かくなどがある。

(小学館国語辞典P623より)

**天守閣** てんしゅかく

- 日本の城の本丸の中に、高くきついた物見やぐら。  
天守。

(小学館国語辞典P866より)

✳ 古ふんと同じで力を示すやくりもしている事を初めて知りました。との様がいましている家かと思っていたけれど少しちがうようです。ぼくが城だと思っていたのは天守閣の部分でした。城とは、ほり・石がきなどたくさんの部分からできているようです。これからもっとくわしく調べていきます。



# 城の歴史

- 起げんは、弥生時代の環濠集落。  
(深い環濠や木柵などにより囲まれた防ぎにくい集落)



- 7~8世紀・大和朝廷
  - 西日本では大陸からのこうげきにそなえて、朝鮮式山城がきづかれた。
  - 東北ではえみし征討のために城柵がきづかれた。



- 14世紀・南北朝の動乱
  - ろう城が一般的な戦法となり、山城が多くきづかれた。

- 15~16世紀・戦国時代

- 軍事きょ点からせいじや生活の場になった。  
入口ややぐらなどの防備機能が発達した  
平山城が多くきづかれた。



- 16世紀後半・近世
  - 天守をもちきほどの大きな城がきづかれるようになる  
(権力のほじが目的)



- 1615年・徳川幕府《一国一城令》
  - 城の発たつは糸冬ある。

\* ぼくが、今回調べたいと思っていた城は戦国時代~近世の城だということが分かりました。



# 地形と城

## 山城

- 険しい山の地形をそのまま活用し、きつづけられたようせい。
- 南北朝時代から戦国時代初期までの城の主流。ほりや石かきを作らなくてもよいので作るのが楽そう。だけど、山の上にあるから生活は大変そう。

## 平山城

- 険しくない山や丘陵にきつづけられた。
- 丘城ともよばれる。山城のけん固平城のりべん小生を両方もっている。
- \* 有名な安土城、彦根城、熊本城もこのつくり。2つのいい所をもっているなら最強なのかな。

## 平城

- 平地にきつづけられた城。土城下町の政府としてのやくわりをした。兵力の4倍容率が高くて、土城下町もつくりやすい。
- \* 戦乱の時代が終わり山などにきづくひつようがなくなったのかな。江戸城、名古屋城、二条城、大坂城、広島城がこのつくり。大都市ばかり！何か理由があるのかな。

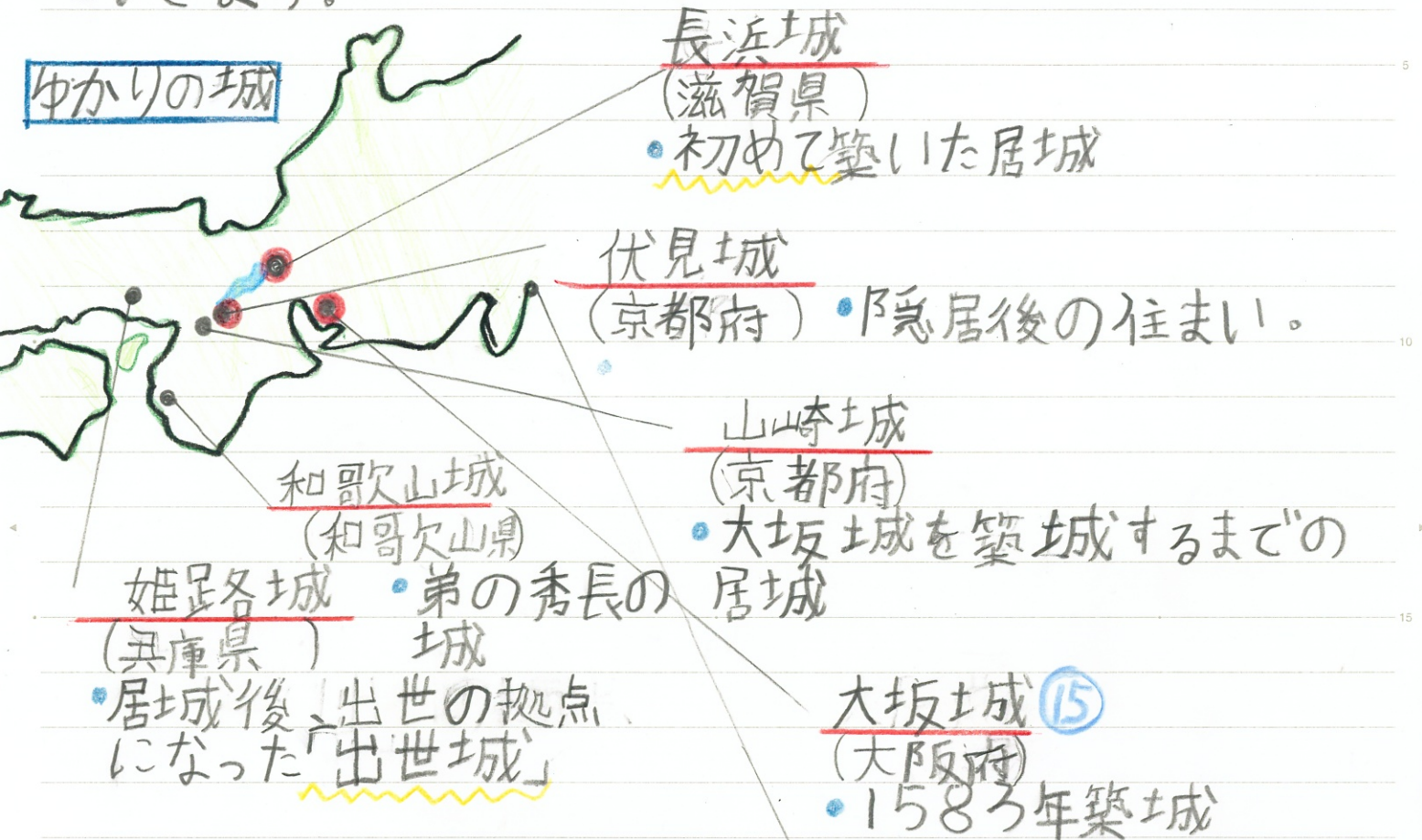
## 水城

- 基本的には平城と同じ。河川や海湖を天然の水堀にしていた。水に浮かんで見えるため浮城ともよばれた。
- \* 堀としてだけでなく水運として物しや兵買のはんはん出を自由にできたからとてもべんりだったろうな。



# 秀吉と城

\*日本にたくさんの城があるので、その中で「もとくに女子きな戦国守護大名豊臣秀吉の築いた城からくわしく調べていきます。



\*近畿地方を中心にゆかりの城がいくつもあった。その中でもぼくが最初に城にきょう味をもつきっかけになった大坂城のつくりをくわしく調べていきます。

小田原城  
(神奈川県)  
• 天下統一の最期の仕上げとして攻撃した。  
(「一夜城」この時石垣山城を築いた。)



# 大坂城 ①

## ● 豊臣秀吉が築いた大坂城 ●

三面を水にかこまれた要害の地に築かれた。上町台地の北端にあり、全くの平城ではなく平山城ともみられる。戦国時代、堀をめぐらせるなど、城塞化した石山本願寺があった。その跡地に築かれた。

1583年、数万人の人員を動員して築城を開始し、2年後にほぼ完成させた。

その後、総構を設けるなどの改修工事を行い、巨大城郭になった。

天守は5層6階建てで瓦などに金箔を使った。

(権威を誇示する効果)

金箔瓦を使うことがゆるされたのは聚楽第、伏見城、名護屋城の他は徳川領とりん接する配下の諸城。

(対抗勢力となりうる家康に見せつけるのが目的)

そして、一門と、有力家臣のみ。



〈桐紋金箔押飾瓦〉

- 天守の破風食巾りに用いられた飾瓦。



〈金箔押三巴文軒丸瓦〉

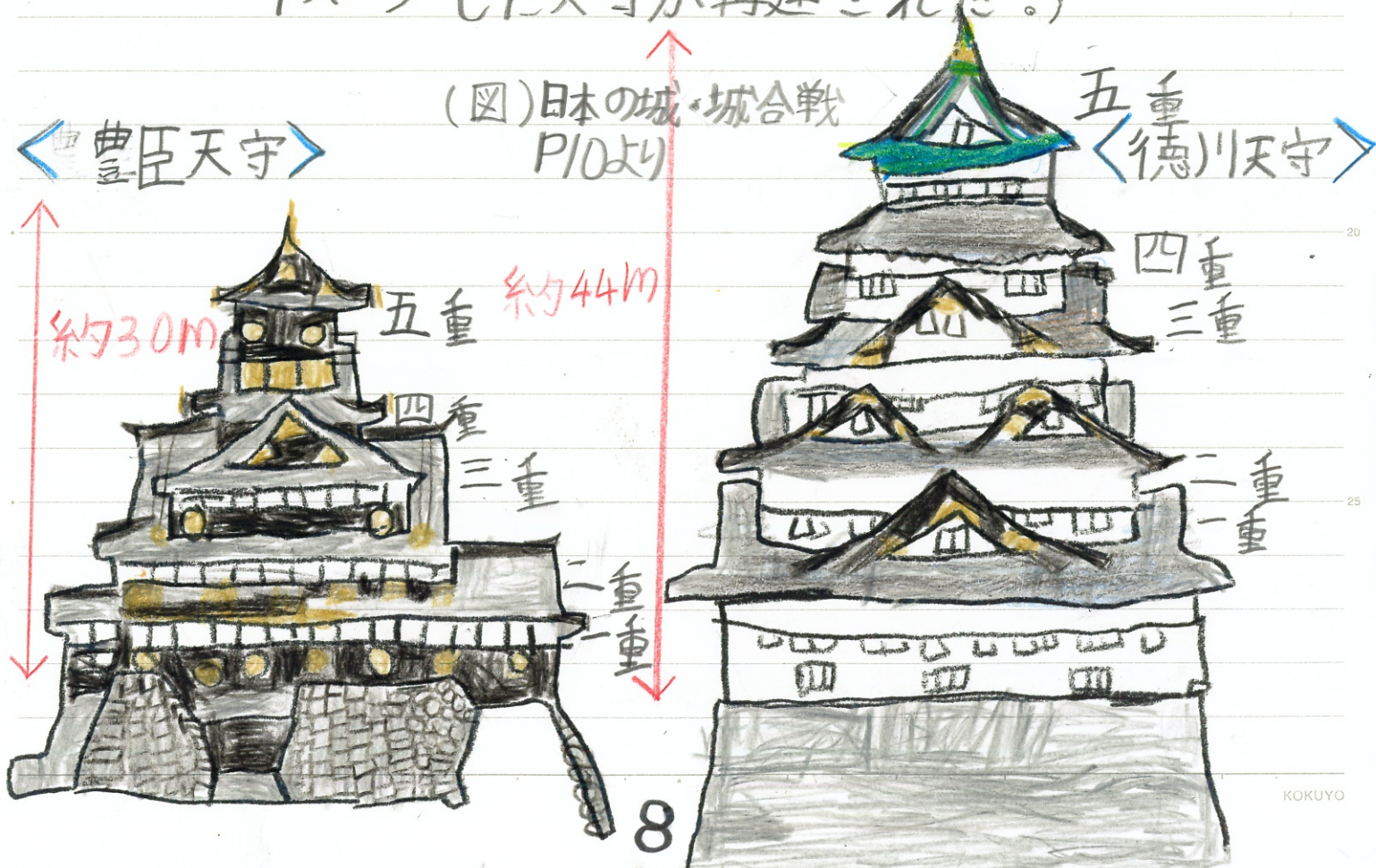
- 秀吉時代の大阪城で使われた。

\* 「金箔瓦による家康包囲系用」といわれたそうです。こんなものを見せつけられた家康はどんなことを思ったかな。ぼくならおこっただろうな。



# 大坂城 ②

- 秀吉が没すると、大坂の陣(1614~1615年)で、大坂城の堀は埋め立てられその後落城した。豊臣氏は秀吉と秀頼の2代で滅せした。
- 落城後は徳川氏の管理下に置かれ、大修築工事が行われた。これが今の大坂城。豊臣時代の城に盛土をして新たな縄張をし、5重5階の天守が建てられた。
- 1665年 落雷で焼失し再建されずにいた。
- 1931年 鉄骨鉄筋コンクリート造、5重8階に復興された。  
(徳川氏時代の天守台の上に豊臣氏時代をイメージした天守が再建された。)





# 城ができるまで①

## 城地の選定

防御、交易、交通などさまざまな要素を考える(土地探し)

## 縄張(設計を行う)

実際に縄を使って土面に間取り図を描くこと  
曲輪(区画)の配置を決め、堀・塁・虎口(出入口)、  
道が計画される。

## 普請(土木工事)

堀を切り、土を盛って曲輪の形を造っていく。  
天守台や櫓台なども土を盛って築造していく。  
石垣を使う城では石の切り出し、運搬、積み上げも行  
われる。石垣の裏側に詰める栗石も集められ、運ばれる。

## 天守の作事(建築工事)

天守台の上に建物の軸組(柱と梁でできた木造の骨組み)  
が造られ始める。  
木を刻み、継ぎ・仕口を造り、材を組み上げていく。  
屋根・庇には、瓦が葺かれ、大棟には鯨瓦が上げられた。  
一方で壁の下地が造られ、土が塗られる。



## 城ができるまで②

### 御殿その他の作事

各曲輪に造られた櫓台には天守と同じように櫓が建てられ、虎口には門が、臺の上は土塀や多聞櫓が造られ、防衛施設が整えられる。

また城主の住まい、政務の場であった御殿も建てられ、絵師が呼ばれ、豪華な障壁画、美しい水墨画が描かれる。

### 城下町の建設

作事と平行して、家臣の屋敷や町人の住居も造られ、城下町が整備される。

✳ 大坂城は三面を水に囲まれていた(大川、寝屋川)から、川が城を守ってくれるからえらばれたんだらうな。京の都や、経済の中心地・堺に近く人口の多さもとび抜けていた大坂に目をつけた秀吉はすごいと思います。

中国攻めで兵糧攻めや水攻めで城を落とし、戦国一の惣構を誇った小田原城を開城させるなどの経馬を生かした豊臣時代の「大坂城」はどんな敵からのこうげきにも負けぬ強い城だったんだと思います。

これから天守だけでなく城郭のつくりをくわしく調べていくのが楽しみで。

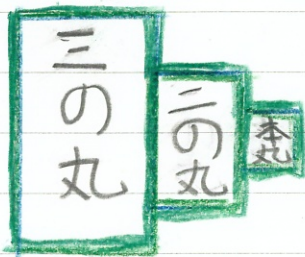


# さまざまな縄張

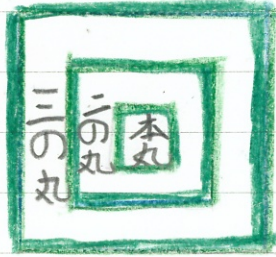
(図)日本の城・城合戦  
P48・49より

《基本的な種類》 組み合わせ、複合形の縄張りとなること  
が「ほとんど」だった。

(連郭式)



(輪郭式)



(梯郭式)



この系統が  
(曲輪)

《特殊な種類》

大坂城  
はこれだ!

(群郭式)

蔵屋敷

今城 弓場城

本丸  
蔵之城

殿屋敷

複数の並立  
する郭から  
なる。

知覧城

式部殿城

(山上と麓)

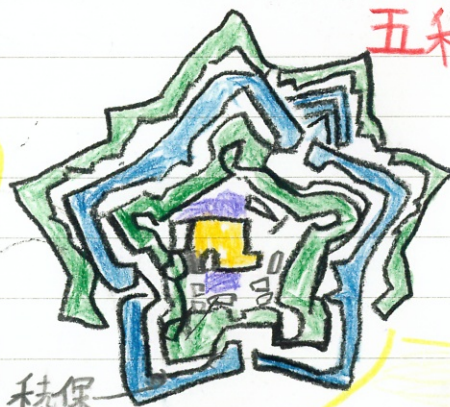
山麓には本丸と  
二の丸(藩政と生活  
の場) 山頂には戦い  
の拠点となる言詰丸が  
構えられた。



川 萩城

(稜堡式)

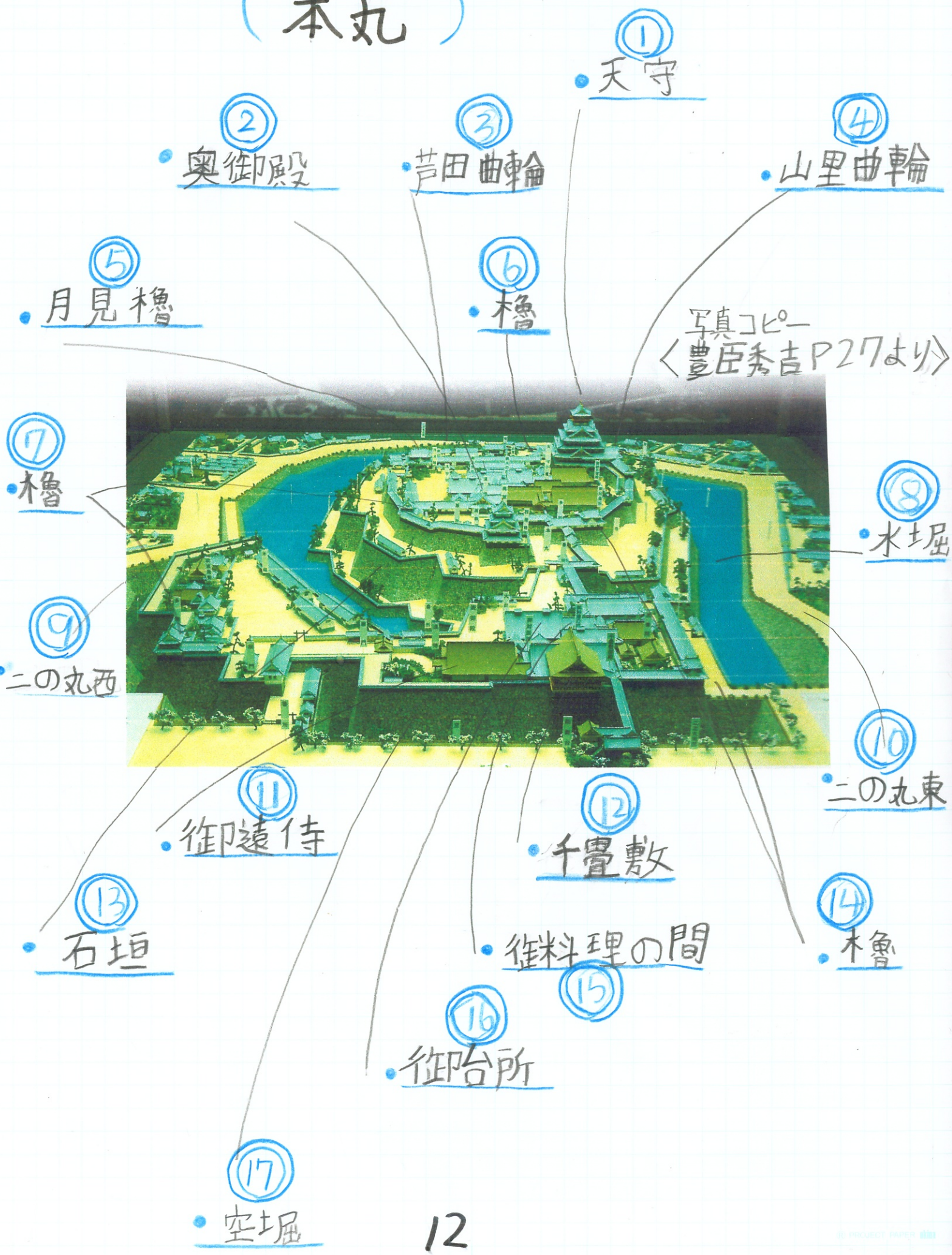
五稜郭



幕末の外国船来航  
にそなえて西洋の  
築城法を用いた。



# 秀吉の大坂城 (本丸)





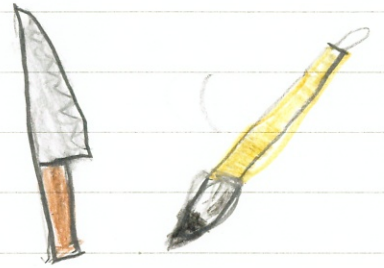
# 本丸 解説 その1

## ① 天守 (1585年ごろ) もっとくわいP16→

5重7階建てで黒漆塗、金箔絵で飾られていた。  
 大きな入母屋屋根の建て物の上に望楼部をのせた望楼型といわれる構造。  
 外壁の板は黒いうるしでぬりかためられ、かざり金具金箔の瓦書彫刻、さまざまな形をした瓦などがせいたくに使われていた。名階には全国から集められた財宝がおとめられ、黄金の茶室もあったといわれている。

## ② 奥御殿 P24→

城主が日常生活を送っていた。  
 (書院・風呂間・台所などがあつた。)



## ③ 芦田曲輪 P25→

本丸を守備する家臣たちの長屋があつた。

## ④ 山里曲輪 P25→

庭園があつた風流な曲輪。

## ⑤ 月見櫓 P27→

月見をするための櫓。

元マ「矢倉」  
 「矢蔵」と記された  
 ように、敵に矢を  
 射る建て物。

## ⑥ ⑦ ⑭ その他の櫓 P27~28→

防衛拠点であり、見張り、武器庫の役割もした。



# 本丸 解説 その2

## ⑧ 水堀 もっとくおしくP31→

おき水か河川の水を利用した。敵が泳いで渡ることができないように堀幅を広くした。

## ⑨・⑩ この丸 P25→

内堀と外堀の間に位置する。家臣の屋敷を置くこともあった。本丸を守る役割。

## ⑪ 御遠侍

主屋から遠く離れた警護の武士の詰め所。

## ⑫ 千畳敷

畳が千枚入るほどの大広間。

## ⑬ 石垣 P32~

敵の進入を防ぐため城を取り囲んで防衛した。

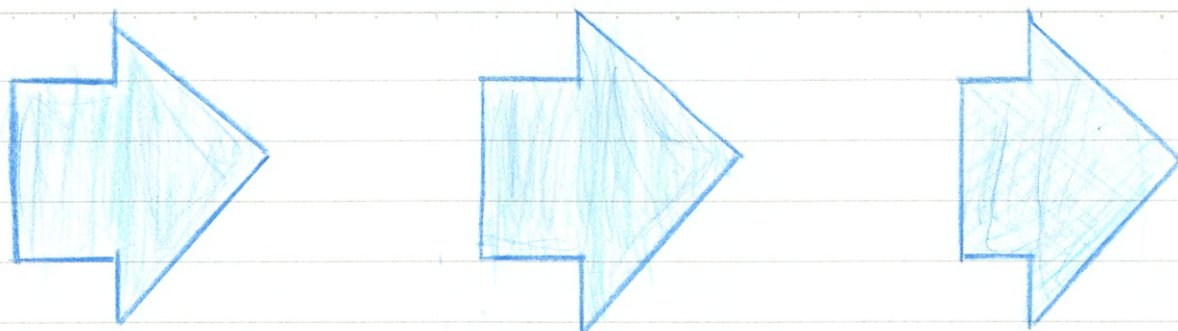
## ⑮・⑯ 御料理の間・御台所

⑫、⑪と共に表御殿(公の儀式、政務を行なう所)にある。

## ⑰ 空堀 P31

激しい起伏が攻め入る敵の動性を制限する。





本丸のことを  
もっとくわしく  
知りたい!!!

ここから①～⑱の説明をもっとくわしくしていきます。  
読み終あるころには、お城博士になれるかも?!



# 現存する天守①

- 昔、城は、50000以上あったそうです。ぼくは多くて1000城だと思っていたのでびっくりしました。今では一般に見学できるお城は200城くらいしかないみたいです。

江戸時代以前から現存している天守は12基だけ。

## 国宝

- 松本城(長野県) 1504~1520年(1594年)①
- 犬山城(愛知県) 1537(1601)年②
- 彦根城(滋賀県) 1603年③
- 姫路城(兵庫県) 1601年④

## 重要文化財

- 弘前城(青森県) 1603年⑤
- 丸亀城(香川県) 1597年⑥
- 丸岡城(福井県) 1576年⑦
- 宇和島城(愛媛県) 1596年⑧
- 松江城(島根県) 1607年⑨
- 伊予松山城(愛媛県) 1602年⑩
- 備中木公山城(岡山県) 1240(1681)年⑪
- 高知城(高知県) 1601(1749)年⑫

\* 現存している天守の数がたったの12基だけしかない貴重な物だということが分かりました。見学できるお城は200城もあるのに現存する天守は12基だけしかないのはなぜだろう。



# 天守が“消えたなぞ” ①

## 原因その1

- 徳川幕府の「一国一城令」と「武家諸法度」(1615年)大名の居城となる1城以外の城の石皮剥ぎと城の新築工事の禁止定められた。  
 全国に3000ほどあった城 → 170ほどに激減(約95%を失った!!)

## 原因その2

- 「廃城令」(明治6年1873年)明治政府  
 要塞として必要な城は「存城」、不要な城は「廃城」となった。この時40城余りが存城になった。  
 文化財として保存されるわけではなく、軍用地確保のために建物を壊したり逆に主要な建物は残して石垣や堀を壊したりした。  
 天守は巨大なため取り壊し、移築・再利用のどの道ぼう大なお金がかかるので、超低価格で払い下げられた。(昭和に入るまでに20基の天守がのこった。)

## 原因その3

- 第二次世界大戦の火災撃や戦後の失火で「広島城(広島県)水戸城(茨城県)名古屋城、大垣城(岐阜県)和歌山城(和歌山県)、岡山城(岡山県)福山城(広島県)松前城(北海道)の8基をうしなった。  
 (ついに現存12天守になった)



# 全国にあるお城

①~⑫は現存12天守

○ 国宝

○ 重要文化財



今回ぼくが調べた  
代表的な城だけをも  
これだけあります!!



# 天守の役割 ①

\* 江戸時代以前からのこの天守は12基しかない事が分かりました。天守は一体なんのためのどんな建物だったのか調べていきます。

- 天守は城の本丸に建てられた城内で最も高い建築物。

史上初の天守をもつ城は安土城(織田信長) ⑬

- 天守の建造のピークは1600年の関ヶ原の戦いから1615年の大坂夏の陣の間。1609年の1年間で、全国25ヶ所の城で、天守がつくられた。

- 豊臣秀吉は大坂城、徳川家康は江戸城に巨大な天守を築き権力を誇示した。 ⑭

- 戦乱の時代、天守は権威を示すシンボルであり、最終防衛拠点でもあった。



- 平和な時代になると、倉庫代わりとなる天守も多かった。天守を建てない城や天守が焼失した後再建しない城もあらわれた。

\* 「秀吉の一夜城」の話にもあるように、相手の戦意をそう失わせることもできる城や天守の力はすごいと思いました。

それが平和になって倉庫代わりや不用品な物になるなんてもったいない気がします。



# ① 天守の壁、白と黒があるのはなぜ?

- 本でお城を調べていくと、天守の壁は白や黒があることに気づきました。  
これは築城当時の世の流れも影響しているようです。

色	黒	白
時代	秀吉の時代以前 (戦乱の時代)	江戸時代～ (徳川天下統一～)
ざいつ	黒や茶色に塗った 下見板張の壁	白漆喰で塗り固めた壁。
とくちょう	下見板で白漆が守られる ため長持ち。工事も早い。	かあくのに時間がかかる。 (工事がおそい) 維持に時間とコストがかかる。
城(天守)	熊本城・林公本城	女臣路城・彦根城

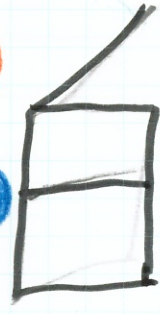
- 黒は金箔が映え、豪華に見える城で財力を誇示する豊臣秀吉が好んだため、仕えた大名の居城に多い。
- 白は徳川家康が好んだ色。漆喰は江戸時代の大名の居城に多い。→ 豊臣の黒に対抗した?  
以前は、この説が有りましたが伊予松山城(松平家)の下見板張や熊本城(徳川と親しかった)などの例外もありこの説は否定されているそうです。

\* 家康が天下を統一してお城が戦いの舞台から政治の舞台へと変わったことで、白漆喰の天守を築くようになったのかな。家康にあこがれてまねした大名もたくさんいたんじゃないかな。



白

- 姫路城 (red) → (blue)
- 弘前城 (blue)
- 会津若松城 (white)
- 塗沢城 (red)
- 犬山城 (yellow, white)
- 名古屋城 (blue)
- 彦根城 (blue)
- 備中松山城 (blue)
- 丸亀城 (red) → (blue)
- 宇和島城 (white) → (blue)
- 伊予松山城 (blue)
- 高知城 (red)
- 丸保田城 (white)
- 山形城 (blue)
- 白石城 (white) → (blue)
- 江戸城 (blue)
- 忍城 (white, blue)
- 新発田城 (white)
- 金沢城 (white)
- 富山城 (white)
- 掛川城 (white) → (white)
- 岡崎城 (blue)
- 二条城 (blue)



黒川

- 丸岡城 (yellow)
- 松本城 (red)
- 大坂城 (red)
- 松江城 (blue)
- 岡山城 (red)
- 熊本城 (red) → (blue)
- 白河小峰城 (blue)
- 清須城 (red)
- 広島城 (red)



- 豊臣派 (red)
- 徳川派 (blue)
- 信長派 (yellow)





# 城・天守のびっくり話①

- 国宝犬山城は2004年まで個人所有だった。
- 日本一の名城と言われる姫路城天守の払い下げ価格はなんと23円50銭だった。  
(当時の米10俵=600kgの価格)
- 国宝の彦根城天守は大津城から移築されたもの。廢城のききだったが、明治天皇がおとすれた時に大隈重信が上奏したことで保存が決定した。
- \* 松山城は天守群を落雷で火災失(1784年) 1820年から35年かけて再建された。 1933年放火で小天守などを火災失。
- 明治時代、廢城令によって城は兵營地や学校になった。
- 小ぶりな門や木魯、玄關や式台は近くの寺や神社は移築・再利用された。

\* 今はお城は政府所有のものだと思っていたけど個人所有の城が最近まであったなんておどろきました。昔に生まれていればお城が買えたかなとぼくは思いました。  
トラックなどもない時代に天守のような大きなものをどうやって移築したのかふしぎです。  
城はこのこっていないくても寺や神社として、のこっているなんてすてきだと思います。

\* 重文=重要文化財



# 鯨って何？

天守の屋根にのっているあれはなに？

**鯨**

…皆さんはこの漢字を何とよむか知っていますか。ぼくが初めて見た時、何か魚の名前かなと思いました。この一字で「シャチホコ」と読みます。その姿は虎の頭魚の体部で「火除けの靈験」があり、城を火災から守る目的で「天守の屋根に置かれていました。」

● いつからあったの？

安土城から出土しているので、天守の倉設のころから。

● 天守にしかないの？

櫓や城門の棟にも一対のせられる。

● 何で出来ているの？

大半は瓦製。信長、秀吉時代には金箔を押したものもあった。江戸時代中期以降 → 青銅製や木芯金銅板張も増加した。

● 有名な名古屋城の金鯨は？

木芯に金の板を張り付けたもの。(一つの鯨に18K・400kg以上使われている。(現在2代目))



● 初代、家康が造らせたときは一対で「慶長大判1940枚分の金(320kg)」が使われたが「藩財政悪化のたび」に3度うすく張り直された。幕府が滅び城明治政府の所有になると国内外の博覧会に出品され、やっと戻ってきたら名古屋大空襲で「天守と共に焼失してしまった。」



## 御殿 ②

- ぼくは調べる学習をはじめるまで、城主は天守に住んでいると、思っていました。が実際に政務や日常生活をおくっていたのがこの御殿という所です。  
中には、城主奥方の居室、家臣と対面する部屋、政務を行う部屋、また各人の歓待を行うため能舞台や茶室などもあった。
- 「表御殿」と「奥御殿」何がちがうの？  
表御殿は、政庁の役割。奥御殿は城主と家族の私邸。
- 御殿は1000坪を超えるものが多い。  
最大は江戸城本丸御殿で13000坪もあった。  
ぼくの小学校がだいたい4000坪くらいみたいなので、御殿だけでその3倍いじなんてすごいです。  
テレビにてくる「大奥」も江戸城の3つの御殿それぞれにあり、多い時には1000人以上の正室や側室が住んでいたそうです。そんなに奥さんがいたら部屋の数もたくさんあったんだろうな。
- 御殿は、天守や櫓など強くつくられたいなからか現存するのは川越城、掛川城、二条城、高知城などあずかかない。
- 御殿にはお風呂もありました。戦国時代は蒸気で体を温めて、汗を流す蒸し風呂(サウナ)が一般的だったが、江戸時代になると今のようなお風呂が広まった。
- 「茶の湯」必ず茶室がつくられ、茶会は会合の手段として、広く好まれた。(茶器、作法を身につけること=武士のたしなみ。)
- 「能」庭園や芝生に面した野す外に舞台が設けられた。  
(現在も能舞台に屋根がのこっているのはその名残だそうです)
- お殿様の御殿での楽しみ。



③

④

くろわ

# 曲輪(郭)

● 城の一区画。近世の城では「丸」と呼ぶことも多い。建物などの防衛設備が設けられ、周縁は土塁や石垣や堀で囲む。(防衛区画)  
 糸巻張は、この曲輪を配置したもの。

・・・山里曲輪、芋田曲輪、二の丸、三の丸 大坂城は三方を水で囲まれていたが、

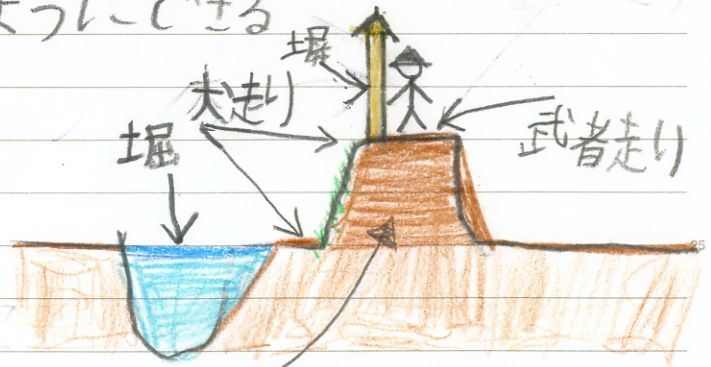
● 本城からはなれた場所にかまえられた曲輪を出丸という。

南方だけは地続きの弱点があったため、つくられたのが有名な「真田丸」。徳川軍は真田丸を集中攻めましたが落とせなかった。

# 土塁(どるい)

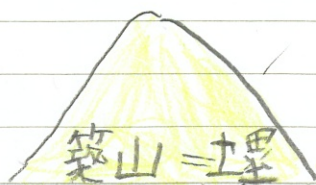
● 土塁は堀をつくるために使った土でつくられている。  
 戦国時代、とくに東日本で発達した。外敵の侵入を防ぐための壁。石垣や土塀を築くさいにもまずは、土台となる土塁をつくることからはじまる。

釘をかける所をなくすため表面をツルツルに叩きしめた。  
 けれど、雨に弱いので草を植えて補強した。土塁の補強と石垣の節納が目的で併用されることがあった。  
 城内には「武者走り」をつくらせて城兵が動きやすいようにした。ぎゅくに城外は敵が動きにくいようにして「大走り」だけせまくしたのが「大走り」。



# 庭園

● 戦が起こると、池は堀に築山は土塁になった。  
 有事のさいに曲輪として籠城の場になる。(堀をまたいでつくった土塁)  
 大坂の陣で豊臣側が逃げ込んだのも山里曲輪④



木の確保



木の実は食料、幹は武器  
 葉草も植えられた。

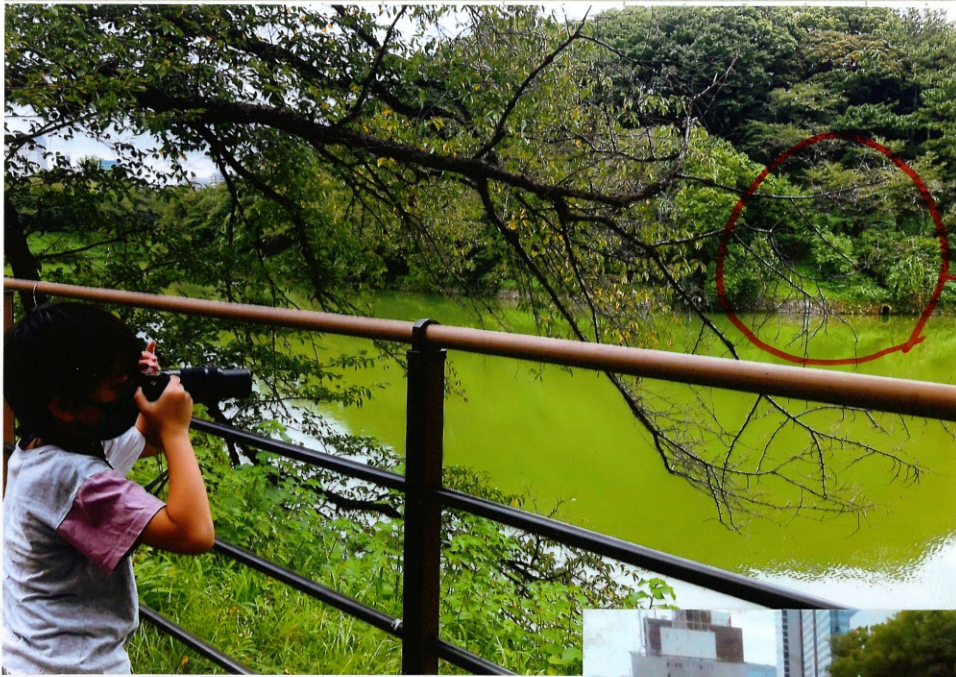


(旧江戸城)より

土塁

←千鳥ヶ淵から北の丸を撮るぼく。

「土塁式」(腰巻石垣)  
水堀は川のように  
広く深さもあから  
ないのでぼくだったら  
攻められません💧



(皇居(旧江戸城))を  
見て歩いたら、江戸時代  
にやってきたような気持ち  
になりました。

橋 城の内外を結び要。  
木橋は撤去が簡単で、敵の  
進入を防ぐのに有効だった。



↑  
←平川橋  
(唯一江戸時代のまま  
現存する木橋)  
木の橋が戦争や火事で  
やけてないなんてすごい。



# ⑤ 櫓 (やぐら)

- 「櫓」とは城にいながら遠くの様子をうかがう物見台が発展したものとされている。
- 戦の際には将兵が籠もり、防衛の拠点に使われていた。
- 天守も櫓の発展形!
- 幕府に遠りよした?! 三重櫓を天守の代用櫓にした!
- (川越城、高山崎城、古河城)
- 天守が焼失した後 三重櫓を天守の代用にするこゝもあった。なんと、現存12天守に入る弘前城や丸亀城の天守は=階櫓と呼ばれていたというからおどろきました。
- 櫓は、一つの城にいくつも築かれたので、今でも100棟あまりの櫓がのこっているそうです。

• 江戸城本丸東南(辰巳=巽)の方向にある桜田巽櫓  
祖父にドライブでつれていってもらい、初めて見た時は、りっぱな建て物なので「天守みたいだな」と思いました。

家に帰って本で調べると曲輪の隅に建てられる「隅櫓」だということになりました。

• 櫓の名称は方位、用途、収納品で決まることが多い様です。

名称や用途がちがっても形状のちがいはほとんどない。

(十二支を用いて東北隅に巽櫓、西南隅に坤櫓、西北隅に乾櫓、東支櫓、西支櫓、月見櫓、干支反櫓、塩櫓、火垂石首櫓、金矢石包櫓)



\* 幕府の「一国一城令」によって新しいお城の築城が禁止されていたため。



# ⑤ 櫓 (やぐら)

● 前のページの「桜田巽櫓」は、ただかっこいいだけじゃない!!

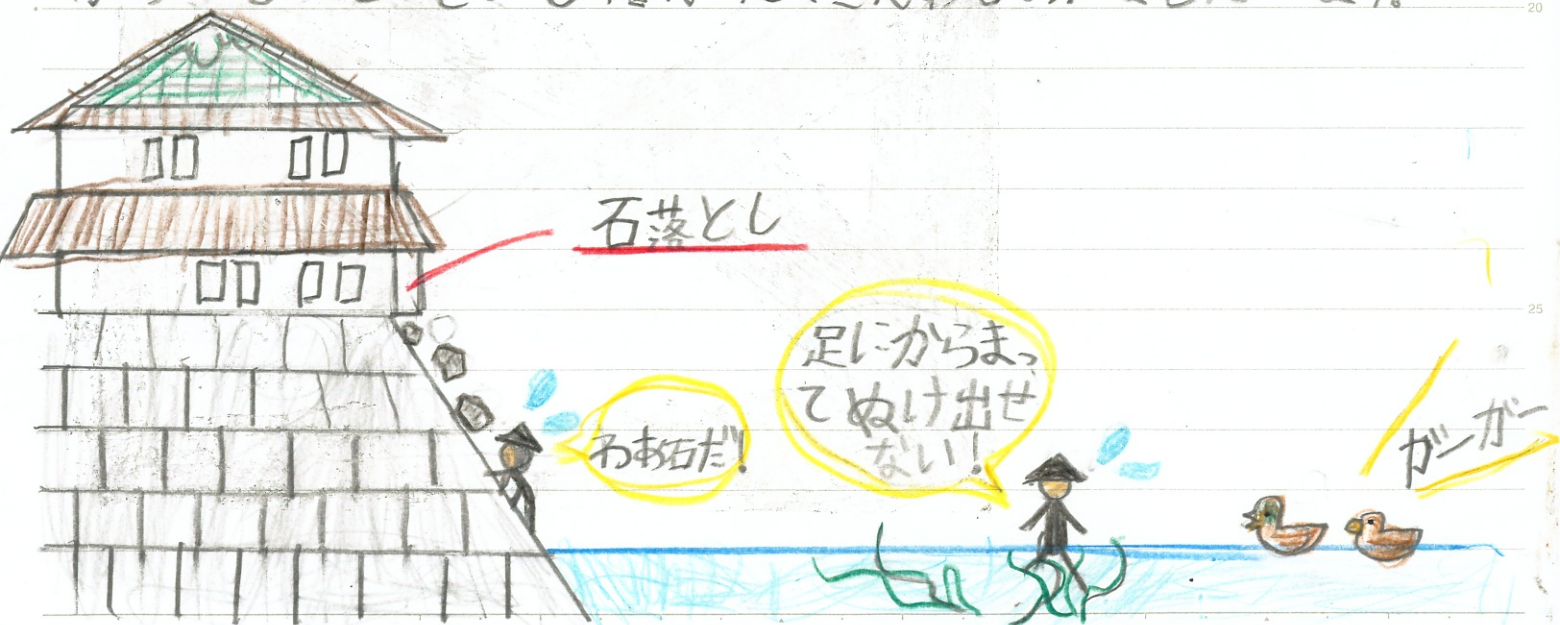
写真にはうつってはいませんが、櫓中央の出窓のようにせり出ている下面には「石落とし」という穴があいています。石垣をよじ登ってくる敵兵に、石を落としたり、熱湯をかけたり鉄砲で真上から攻撃ができるようなつくりになっています。

\* 水堀がへとへとになって、やっと石垣を登ったら、最後に櫓から攻撃されて敵兵はズタボロ。

一つのお城にこんな櫓がたくさんあるんだから城攻めがかんたんじゃないのはよく分かります。

櫓門のように、櫓と門が合体したり、桜田巽櫓のように櫓と石垣と水堀が合ったりして、城の防衛性を高めていることがよく分かりました。

戦の時は防衛の拠点になり、世の中が平和になると物資を貯蔵したり、月見櫓や富士見櫓のように城主が風情を楽しむために使われるようになったり、世の中の状況にあわせて役立ってきたから今ものこっている櫓がたくさんあるのかなと思います。





# 門 (もん)

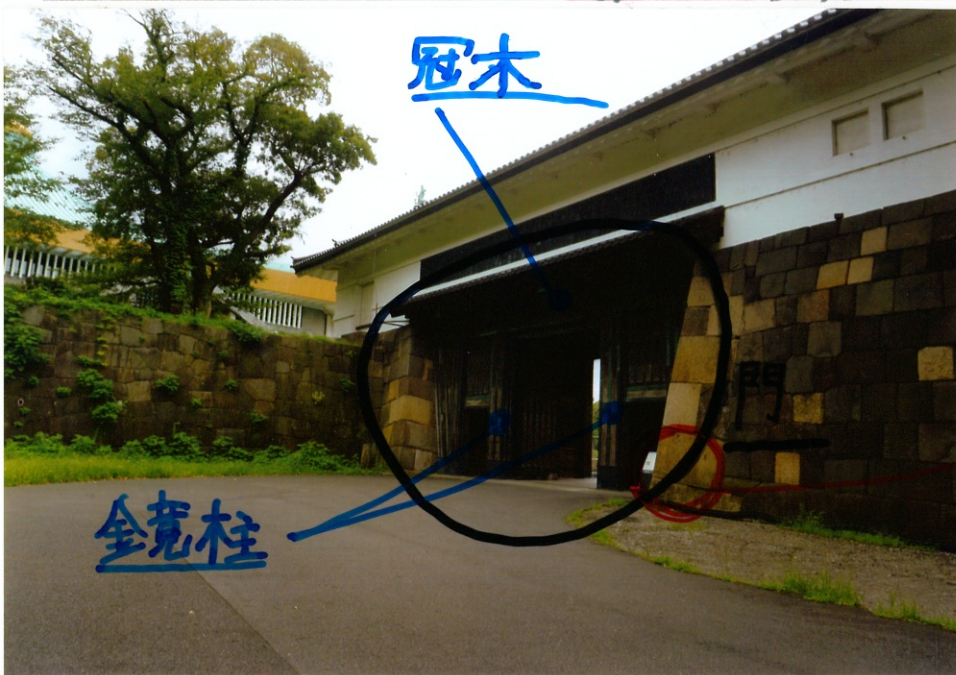
- 城の出入口にある門は全部で8形式ある。

## (平屋建て)

- 藁廂門(やくいもん)・・・柱全体に1つの大きな屋根。
- 高麗門(こうらいもん)・・・冠木と2本の控え柱それぞれに屋根。
- 棟門(おねもん)・・・控え柱を省略して冠木の上に屋根。
- 埋門(うずみもん)・・・石垣の間や穴の上に土塀を渡して門に。
- 冠木門(かぶきもん)・・・鏡柱と冠木だけの門。
- 堀重門(へいじゅうもん)・・・鏡柱と扉のみの門。
- 長屋門(ながやもん)・・・長屋の間に造られたもの。

## (二階建て)

- 櫓門(やぐらもん)・・・上階が櫓、下階が門。城の大手や曲輪の表口など重要な位置に建つ門に使われた。



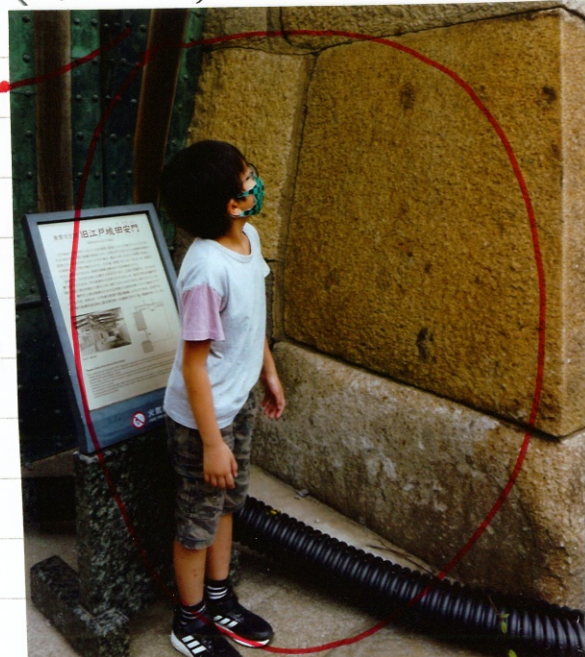
冠木

鏡柱

櫓

櫓門は門の王様  
(木格式、防衛力(高))

<拡大>



旧江戸城田安門

(櫓門)

\* ぼくが立ってみるとその大きさがよく分かります。城の重要な所にある櫓門は、ぱりとても大きくて、迫力がありました。

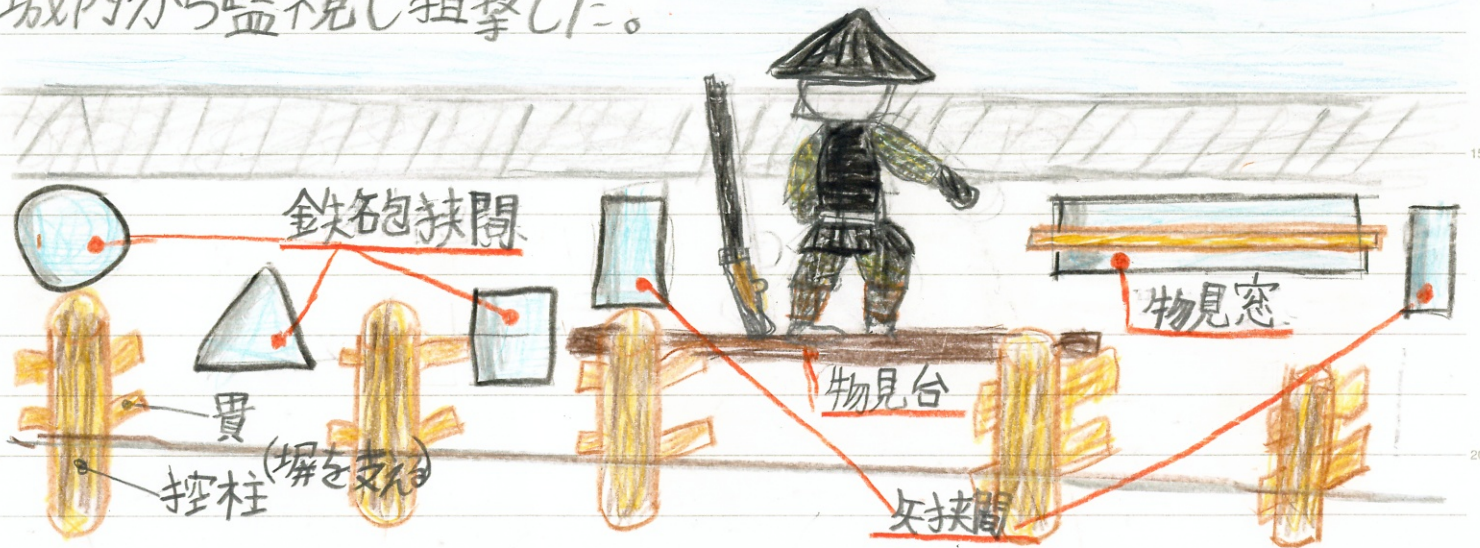


# 塀(へい)

- 城の内と外をさえぎる、防衛設備。  
現代のようなコンクリートやブロック塀ではなくて、中に木の骨組みを入れて粘土や泥を塗り固めた「土塀」が主流だった。  
土塀は石垣や土塁の上に必ずつくられた。  
他の建造物より手間がかからず、防衛機能を手軽に発揮できた。

- 江戸城には全国でも最長とされる全長10kmもの土塀があった。  
(現存最長は熊本城の長塀で252.7m)

- 塀には「物見窓」(現存は高知城のみ)や、「狭間」、控え柱と貫の上に臨時でつくれた物見台などがあり、敵を城内から監視し狙撃した。



- 丸や四角や三角の穴から矢や鉄砲を飛ばす、これが「狭間」
- 現存する土塀は10城のみ  
...江戸城、金沢城、二条城、大坂城、姫路城、備中松山城、丸亀城、松山城、高知城、熊本城。



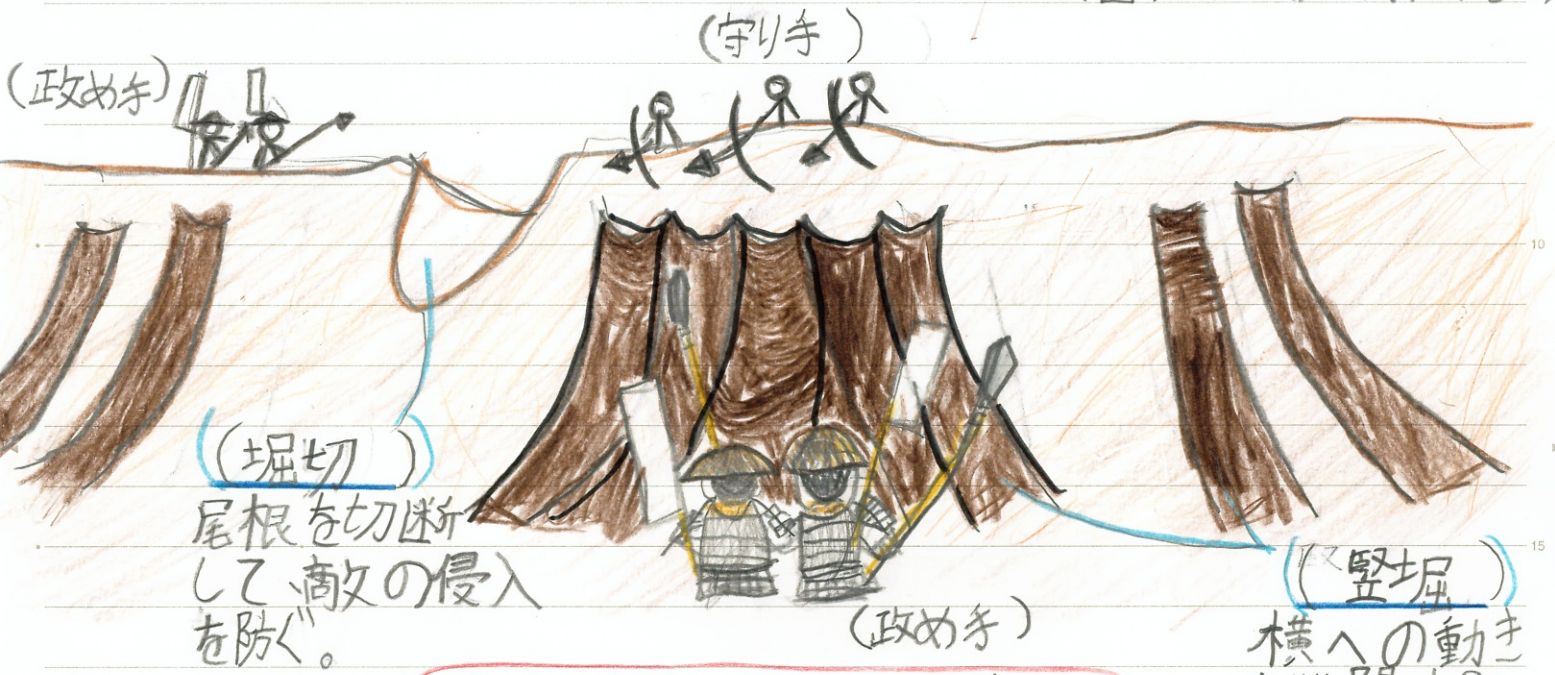
# 空堀と水堀 ⑧ ⑱

⑱

**(空堀)** —— 中世の主流 (山城はほとんど"空堀"だった。)

- 深ければ"探い"ほどよい。  
落ちただけで"大ダメージ"!! 堀底を狭くして敵の動きをふうじる!!

(図)日本の城入門P75より



大坂城の堀幅36~72mもあった。  
鉄砲対策のため広かった!

⑧

**(水堀)** —— 近世の主流 (おき水や河川の水を利用)

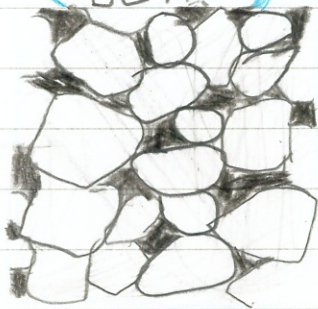
- 広ければ"広い"ほどよい。





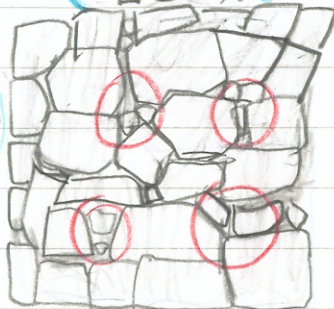
# ⑬ 石垣

## (野面積み) 乱積



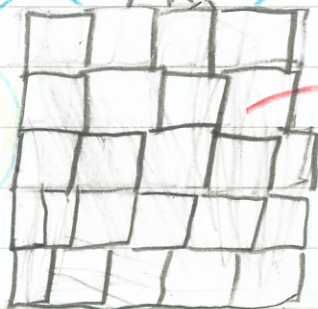
大小さまざまな石を積んでいく。

## (打込ハギ) 乱積



高さのそろった石を横に積んでいく。

## (切込ハギ) 布積



切石

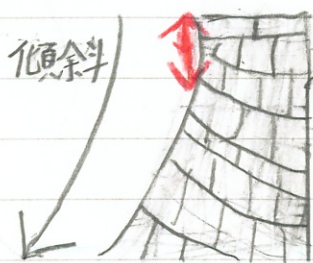
加工されていない自然の石をつんでいく方法。安定しづらい石を積むため高い技術が必須。

加工した石を使って、積み上げていく方法。石と石の間に間詰石(小さい石)をつめる。

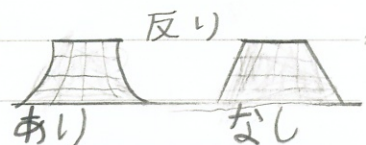
完全に加工した石を積んでいく方法。石と石の間にすきまがなく、登れない。



- 石の加工程度が上がるほど、石垣の勾配は急になる。上部はほぼ垂直になるよう「反り」がつけられている。



石垣は、城の主要な防衛施設。登ってくる敵兵を上部から優位に攻撃できる。木倉などで刺さなくても落下させれば致命傷を与えられる。



\* 石垣に使う石を集めるだけでも大変なのに固い石を加工するのは大変だったろうな。加工するしょく人さんがいたのかな。



# ⑬ 石垣

- 戦国時代後半になると一部の地いきで石垣が導入された。例えば近江では、守護六角氏の観音寺城が高石垣によって築かれている。寺院の造営技術を導入したものだと言古文書から分かった。

40年後

自然の石  
を使っている

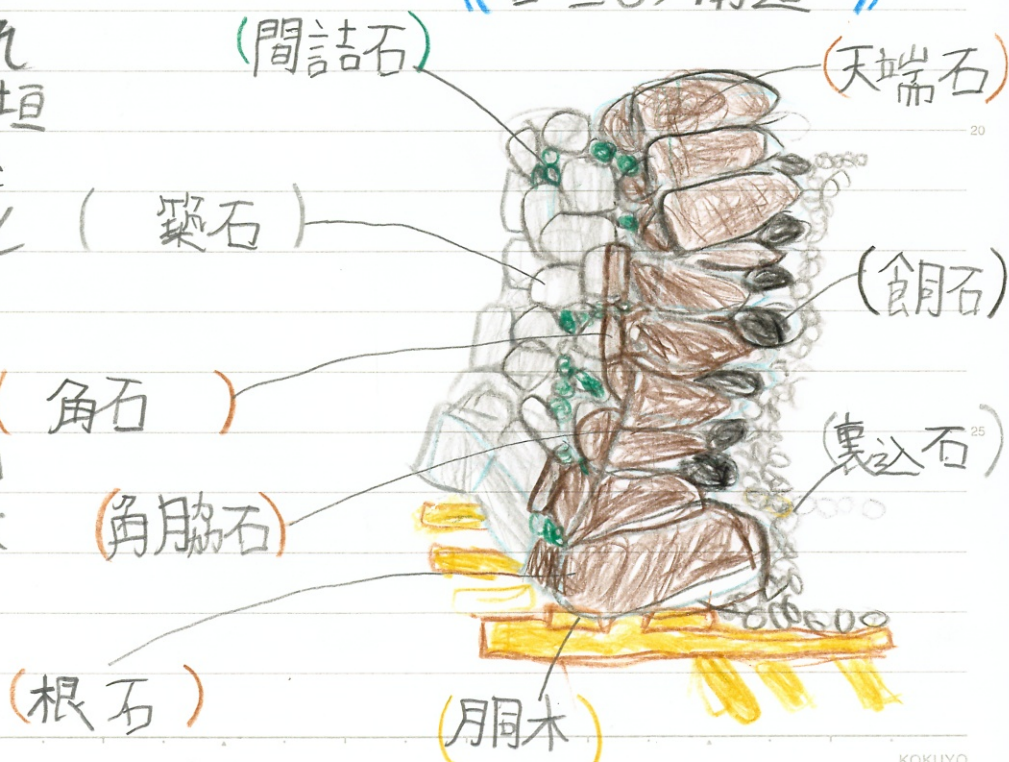


- 織田信長の安土築城により、一気に石垣が導入される。

- 石垣は城をとり囲んで「防御する「塁線」の1つ。土塁よりはるかに頑丈で高く、その上に建築物をたてることもできる。導入が早かったのは、石材が手に入れやすかった西日本の土城。東日本の城の主体は土造りだった。

\* 秀吉のあごがれの織田信長が石垣の流行をつくったなんてさすがだと思います。寺の技術だなんていがいです。飛鳥時代から長い歴史をもつ仏教の寺院だから技術もすごかったのかな。

## ((石垣の構造))



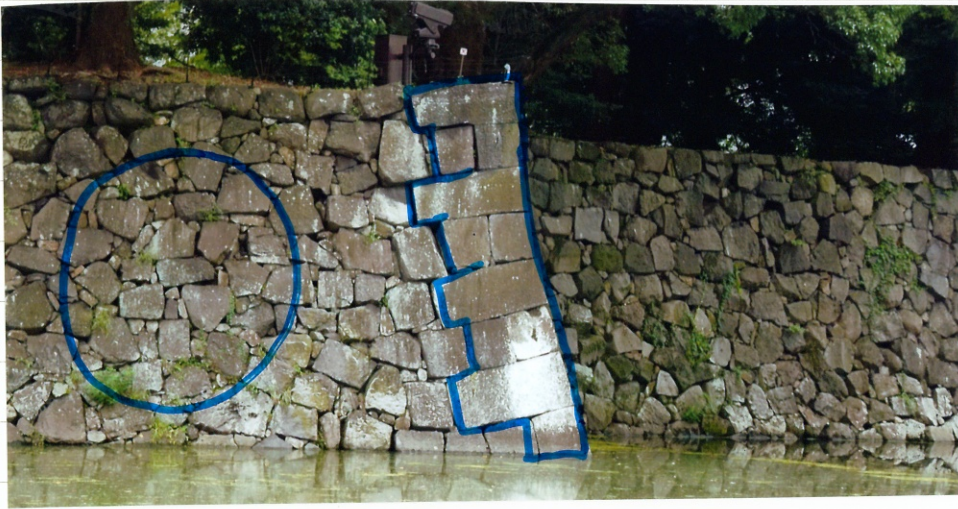


# ⑬ 石垣

- 江戸時代初期1605年ごろ  
地震などの災害にそなえ「算木積」ができた。

## (算木積)

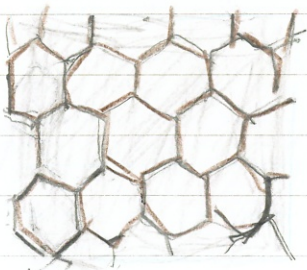
石垣の隅に、長方形の石の長辺・短辺を組み合あせて積むことで強度が高まり、見た目も美しくなる。



- この写真は、皇居の内濠にある石垣です。青丸の中は打込ハギ、青いギザギザの中は、算木積です。

- 江戸時代中期より強固になった石垣「亀甲積」と「落し積」

## (亀甲積)



亀の甲羅のように六角形に整形した積み上げるもの。

## (落し積)



谷積みともよばれた。

石垣を斜めにずらしながら積み上げる。



# ⑬ 今ある大坂城天守の石垣(天守台)

(阪)

★ 今ある大阪城は1931年に築かれた復興天守だということは分かりましたが、(豊臣大坂城天守を模した) その天守台は徳川大坂城のものだそうです。

1583年に築かれた豊臣大坂城は、徳川に大坂夏の陣にやぶれた後、破かいされ、埋められた。

近年、徳川大坂城の地面を掘った所から、豊臣大坂城の石垣が見つかった。

その石垣は「野面積」。現在の徳川の石垣は「切込ハギ」や「算木積」が使われているので2つの石垣の築かれた時代がよく分かります。

ぼくが好きな豊臣秀吉ゆかりの城の石垣が近年見つかったのうれしいです。ぜひ見に行きたいです。

(徳川)

● 現在の本丸の石垣の高さは約18mあり「反り」もある。鉄壁の守りだったと思います。

● 大坂城にある巨石の中に、高さ5.5m横11.7m重さ約130tの「蛸石」という物があります。

★ これだけの大きな石や、たくさんの石をどうやって運んだのか知りたいです。

次は、巨大な石を運ぶことができたなぞについて調べていきます。



# 巨石を運んだ技術

## ● 石材 ●

(江戸城の場合)

関東には石がとれる場所は少なく、なんとか見つかった採石場は伊豆(静岡県)

《石を切り出す》 → 《船に積み江戸湊へ》

\* 専用の船を用意するだけで2年かかったらしいです。バランスが悪くて沈没したこともあったそうです。石を運ぶだけで命がけだったのでですね。

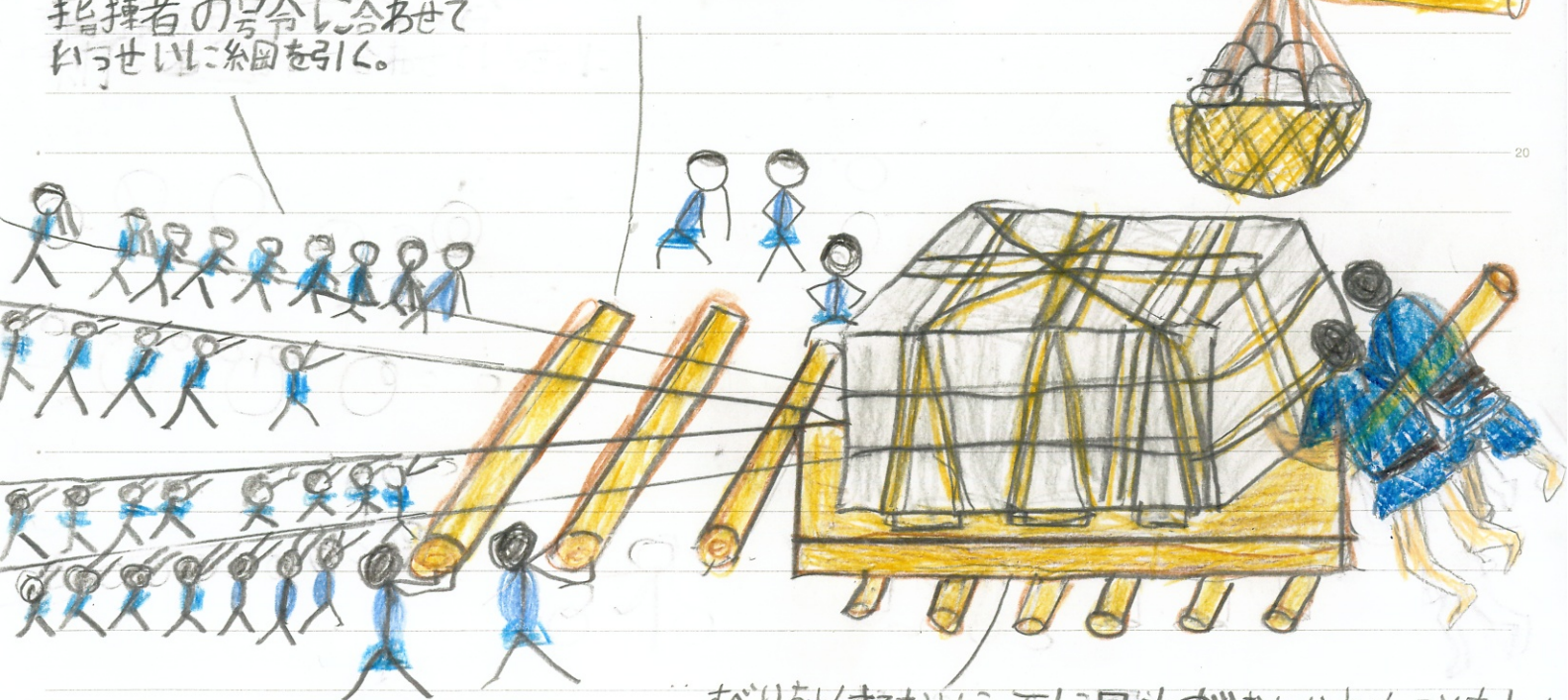
《建設現場へ》 ←  
5000人で1つの巨石を運ぶこともあった。

(図) 日本の城入門P/80・181より

小ぶりな石も2人がかりで運ぶ。

指揮者の号令に合わせて  
いっせいに糸を引く。

丸太の上を転がして運ぶ



すべりをよくするために、下には布が敷かれたこともあった。



# 石にのこるマークは何？

- 石垣を見ると、下の絵のようにそれぞれの石に色いろなマークが刻まれています。これはなんでしょう？ だれかの落書きでしょうか？

これは「刻印石」<sup>5</sup>とよばれるものです。

石垣築城に参加を命ぜられた諸大名の家臣や石工が、必用に応じて、担当大名の家紋などを刻み込んだものです。<sup>5</sup>  
 これまでに大坂城では数万個も発見されているそうです。

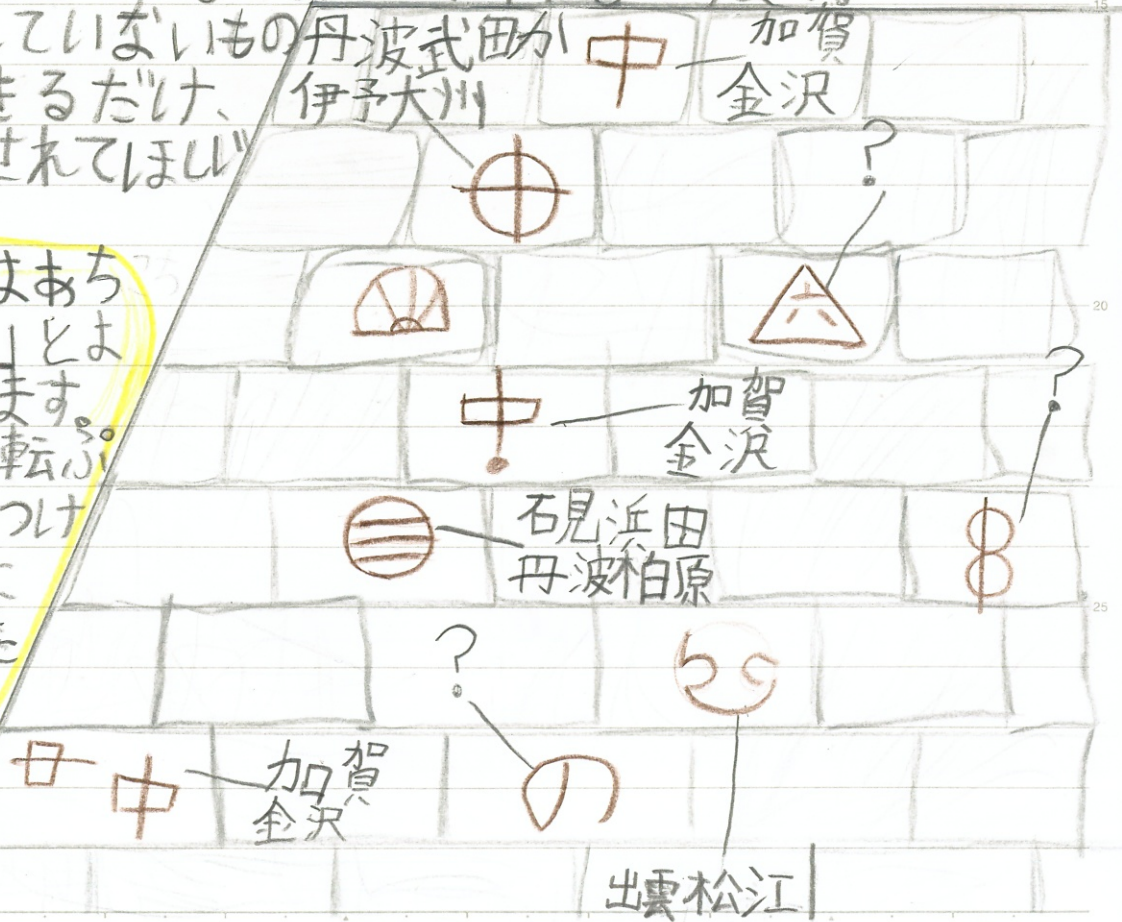
(現)大阪城は1620年~1629年に徳川幕府が西日本の69藩を動員して築かせたものらしいです。

\*69藩も人員をよびよせたと聞いて徳川幕府のかは大きいと思ひました。

先に調べた巨石を運ぶ大変さを考えると他の藩とトラブルがおきないように大切な石にしるしをつけたのかなと思ひます。まだまだここにかいていない刻印石もあります。

まだかいいしていないもの丹波武田が 中 加賀 伊予大洲 金沢 早くかいいされてほしいです。

大阪のまちにはあちこちに「残念石」<sup>15</sup>とよばれる石があります。これはいかだの転ぶくで城にたどりつけなかつたり、石垣にえらばれなかつた名前の通り残念石のことです。





# 城をつくったのは大工さん？

- ぼくたちが住んでいる家は設計士や大工さんがつくってくれます。大きな城はいったい誰がつくったのでしょうか？  
答えは、城主や奉行が指揮を執り豊民や城大工などの多くの労働者がつくりました。

## (城大工)

大名から直接命令を受け現場で実行する。

- 岡部又右衛門(熱田神宮の宮大工)

…織田信長の安土城築城で活躍した。

- 中井正清

…徳川家康に気に入られ、江戸城や名古屋城だけでなく、京都知恩院や日光東照宮、江戸の城下町計画にも携わった。

## (穴太衆)

石積み専門の職人集団

…近江(滋賀県)出身。高い技術力を買われ、織田信長(安土城)の石垣づくりを命じられた。豊臣秀吉や徳川家康などのもとで、多くの城づくりや修築に携わった。

## (現場で働く人々)

…普段は農業をしている領民たちは、築城や城の修理などのたびに集められた。  
秀吉の聚楽第建造時には10万人も集められた。



# 戦国時代～江戸時代の名築城家

## ● 藤堂高虎(1556年～1630年近江国)

…江戸城・大坂城(徳川)

その他、膳所城、丹波亀山城、伏見城、伊賀上野城、津城、今治城、宇和島城、大洲城など

時流を読む能力に長け、浅井長政、豊臣秀吉、徳川家康という政力の強い人々に仕えた。家康に仕えたら能力を認められ、多くの城の設計に携わっている。

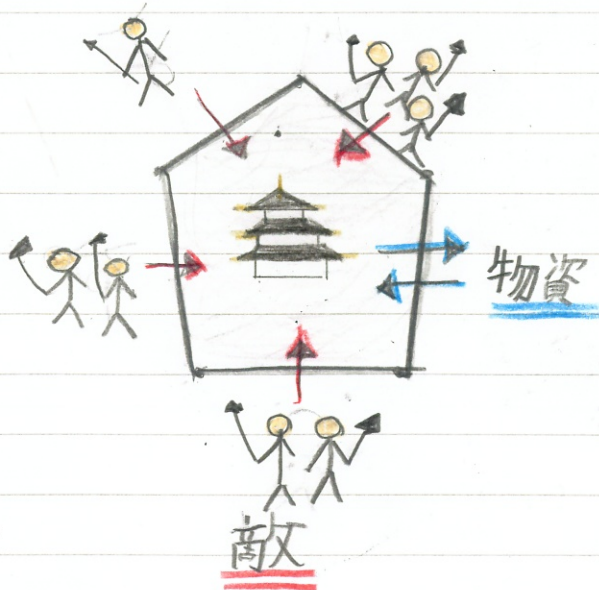
高虎は石垣を高く積み上げる技術にすぐれていたため、日本一高い石垣をつくった。

城の縄張りづくりにもすぐれていて、幕府の隠密も欺いた!

伊予宇和島城の縄張りは一見四角形に見えるけれど、実は不等辺五角形。(四角形と思い込んだ敵に囲まれても、もう一边から味方の出入りが可能)

今治城築城のとき、新式の天守を発明した。それは層塔式といって一層から同じ形の建て物を小さくしながら規則的に積み上げていくので「工事期間とコストをおさえられるので慶長の築城ラッシュで」全国に広まった。

((望楼式))



((層塔式))





# 戦国時代～江戸時代の名築城家

● 加藤清正 (1562年～1611年尾張国)

●● 江戸城、名古屋城、大坂城、名護屋城、熊本城、蔚山倭城など

幼いころから豊臣秀吉に仕え「賤ヶ岳の七本槍」に数えられた清正は、猛将として日本中にその名を轟かせた。

築城の他に土木工事にも長けた武将として知られる。

名古屋城の築城では、着飾った小姓と、ともに大石の上に乗し、石を引く人々をおうえんして築城を急がせたり、天守台をつくる時には周囲に幕を張ってその石積みの方を隠したり、したといわれている。

熊本城の中には、秀吉の子秀頼を迎えて立て籠るために使う隠し通路を設けていたというように、数々の築城伝説がある。

「おしは官軍に負けたのではない清正公に負けたのだ」これは、だれの言葉だと思いますか？正角判は1873年の西南戦争で敗れた西郷隆盛の言葉です。

これは圧倒的に人数の少ない政府軍がいた熊本城を落せなかつたことが、戦いの行く未を決めたという意味の言葉です。築城当時はなかつた武器を持った大軍でも落せなかつたなんて、すごい名城です。

まだまだいるぞ"名築城家"

● 太田道灌

徳川家康入城以前の江戸城を築く。

● 松永久秀

史上初めての天守を大和・多聞山城に建築。

● 黒田官兵衛

豊臣秀吉の参謀として活躍し、秀吉の城となる姫路城や名古屋城の糸巻張をつくった。

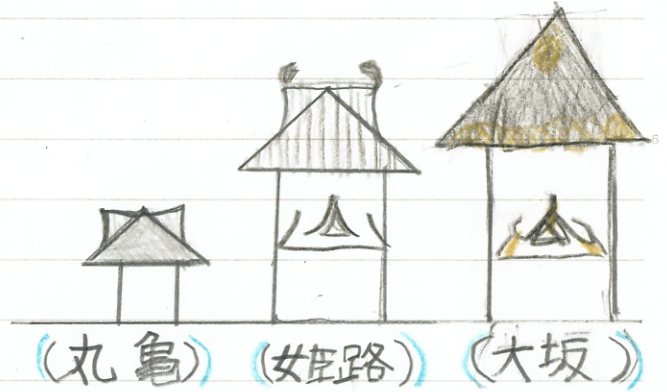


# 日本の城なんでもナンバーワン!!

- 高さ日本一の現存天守
  - 31.5m(姫路城)

- 高さ日本一の復興天守
  - 41.5m(大坂城)

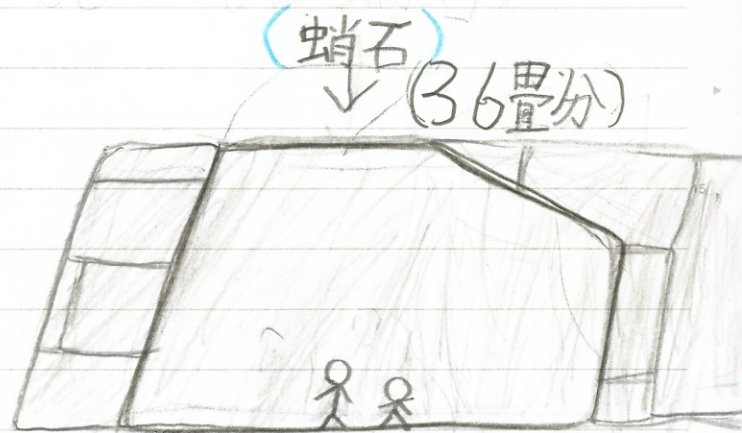
- 大きさ日本一の天守
  - 約15m(丸亀城)



- 古い天守日本一
  - 1537年築(犬山城)

- 日本一新しい天守
  - 2019年(尼崎城)

- 日本一巨大な鏡石
  - 蛸石(大坂城)

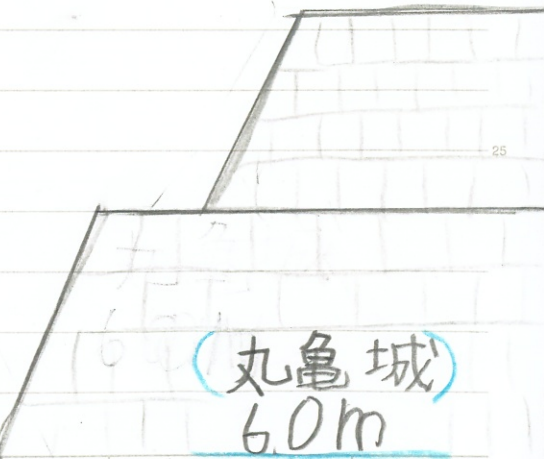
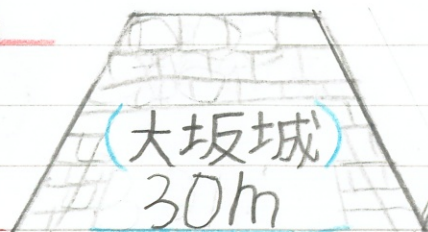


- 石垣の高さ日本一
  - 30m(大坂城)

- 重なる石垣の高さ日本一
  - 60m(丸亀城)

- 城郭広さ日本一
  - 2300,000㎡

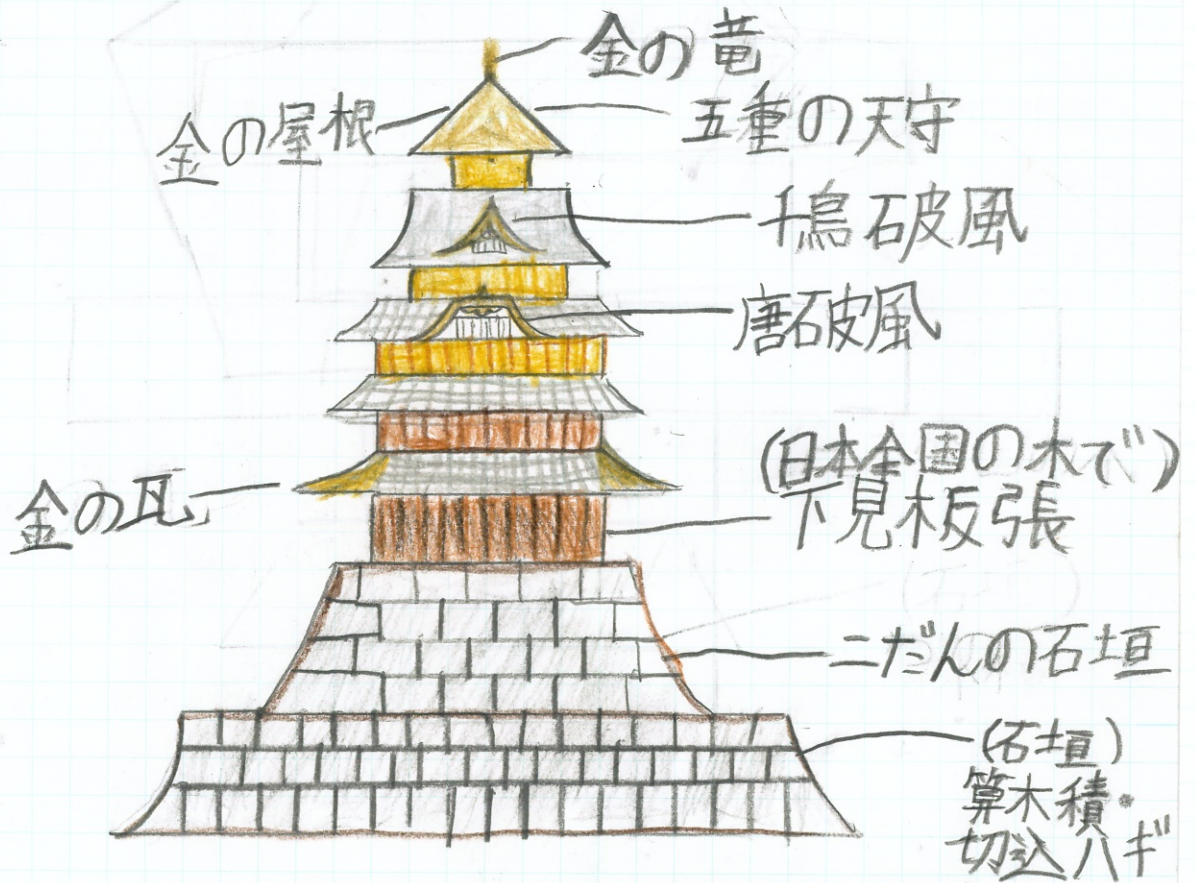
- 日本一大きい櫓
  - 熊本城宇土櫓





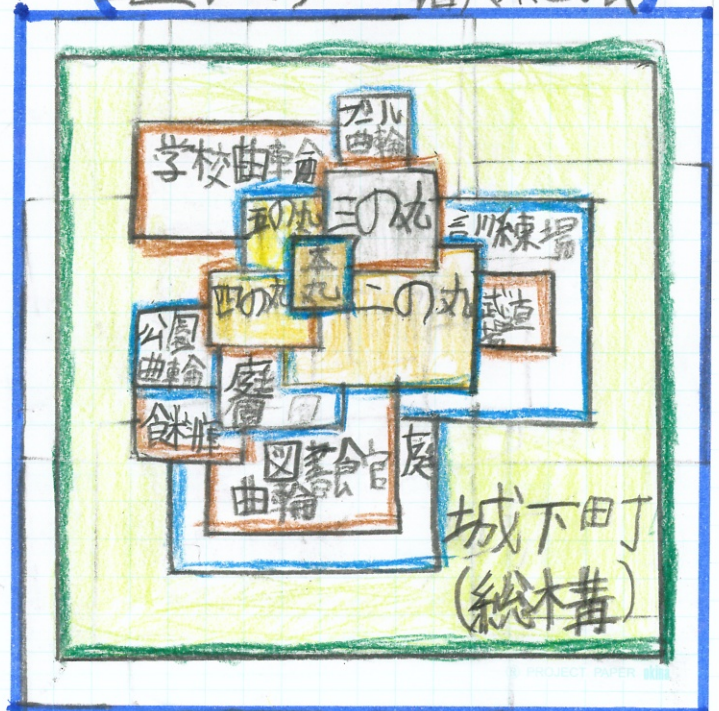
# ぼくの理想の城郭

## (天守)



## (迷いの地獄縄張)

本丸を中心に曲輪  
 を張りめぐらせて  
 迷路のようにして  
 てきの進入を防ぐ。  
 町自体も秀吉のよ  
 うに総構で囲む。





# ぼくが住む豊島区に城はあったの？

- ぼくは豊島区に、お城があるか調べるために「豊島区立郷土資料館」へ行きました。  
資料館には、「豊島区のおゆみ」などが分かりやすく展示されていました。
- 豊島区池袋は、江戸時代豊島郡池袋村でした。  
今ものこされている豊島郡の村絵図を見ることができました。  
村絵図を見てもお城はみつきませんでした。  
では、池袋村は近世どんな村だったのでしょうか。  
池袋の戸数は129戸で、他の村を合おせても、豊島郡全体で576戸  
人口は約3000人前後と推定されています。  
下高田・雑司谷・粟鴨・上馬込の各村には大名の下屋敷や抱屋敷、  
粟鴨には御薬園、雑司谷には御鷹方組屋敷・御犬飼小屋がありました。  
が、その他はほとんどは農地でした。  
さつきやソメイヨシノ、菊などの庭木栽培もさかんでした。
- お城が見つけれなかったのは残念でしたが、豊島区のおゆみ  
を見ると1656年に成立した藤堂家下屋敷の堀跡がみつかったり  
史跡は16ヶ所以上あることが分かりました。  
ぼくの家付近にもあるかな？  
探しいきました。

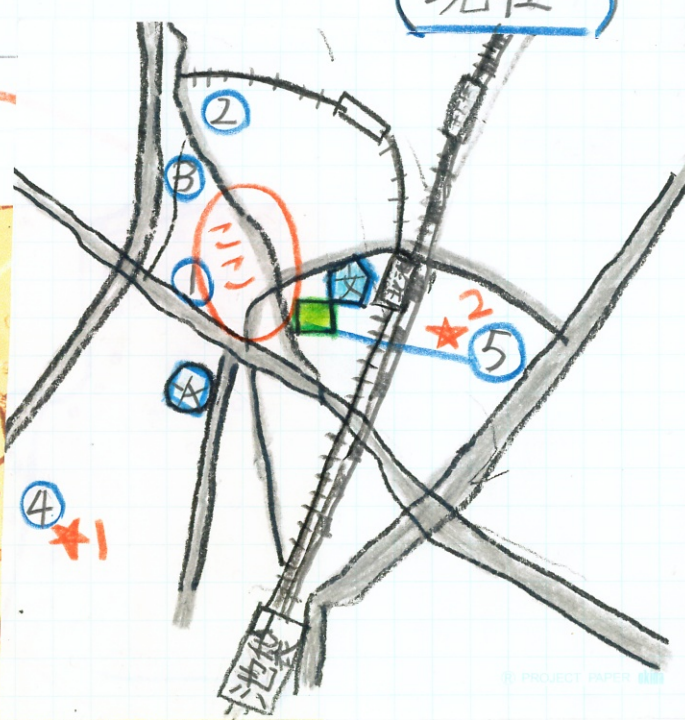




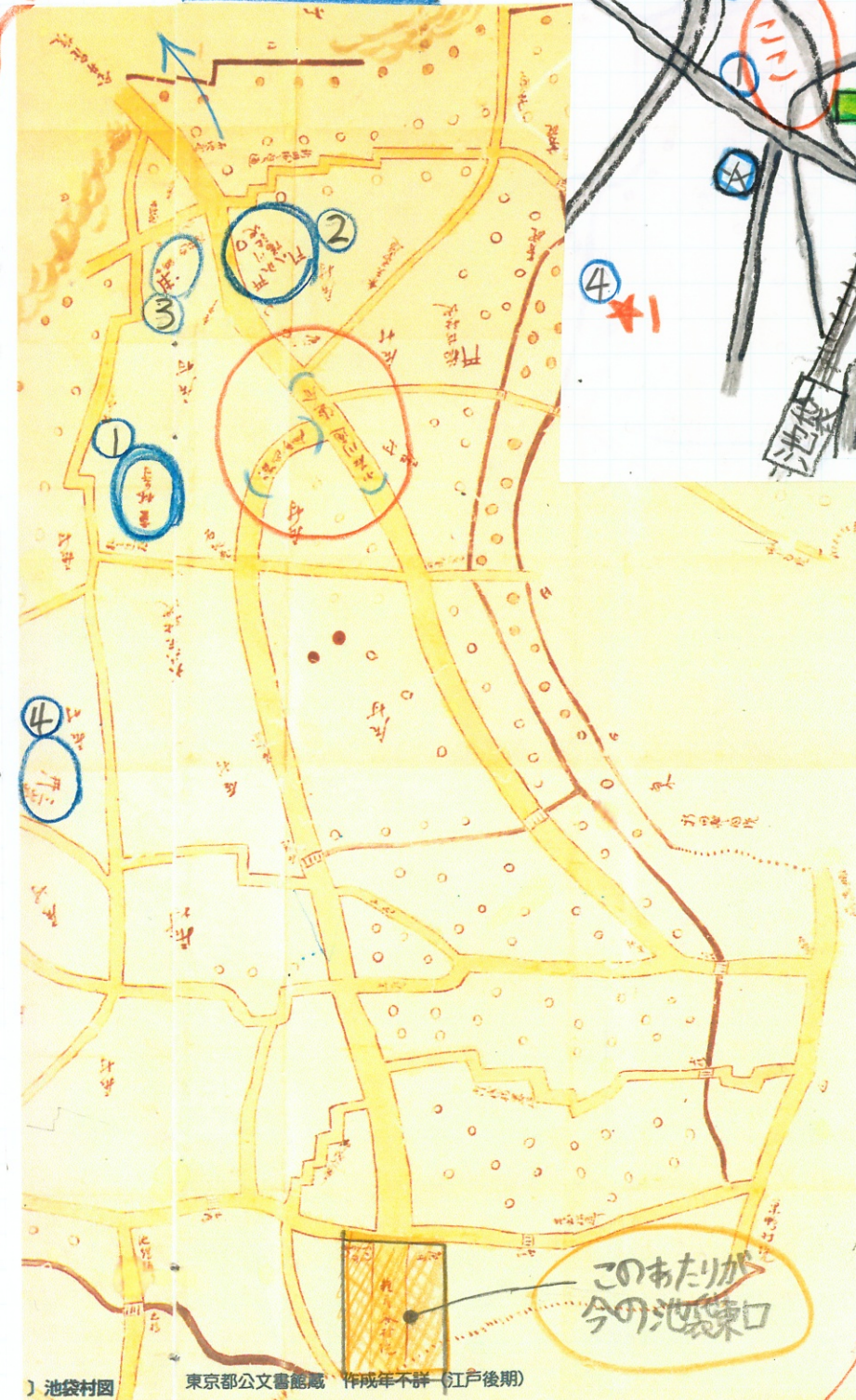
# 江戸時代の池袋村絵図

\* ほとくの近所の道が昔と変わらず今も同じ所にある  
なんてふしぎなかんじです。町の様子が変わって  
も、今も昔も変わらずにのこっているものを  
みつけにいきました。

(現在)



(江戸時代)



(コピー)  
 歴史をたずねて  
 豊島区の文化財  
 P89より

図書館に行く時に  
 みかけた  
 御嶽神社  
 も地図に  
 のってたよ。

- ① 重林寺
- ② 氷川神社
- ③ 子育て地蔵
- ④ 御嶽神社
- ⑤ 庚申塔  
 (池袋本町公園)

- 図書館
- ★1 池袋
  - ★2 上池袋

このあたりが  
 今の池袋駅

池袋村図 東京都公文書館蔵 作成年不詳(江戸後期)



①

# 重林寺 (開基1650年) 徳川家光のころ



## 庚申板石碑

右下に、

「天文廿四年乙卯」1555年

戦国時代室町幕府

義輝の時代のものが

あるなんてびっくりで

す。



(表)



(右横)



## 唐破風笠付角柱型

右横に

「享保二丁酉年」1717年

江戸幕府吉宗の時代

300年以上たって

いるのに、お城の天守

のような唐破風や蓮のお

がきれいにのこってるなんて

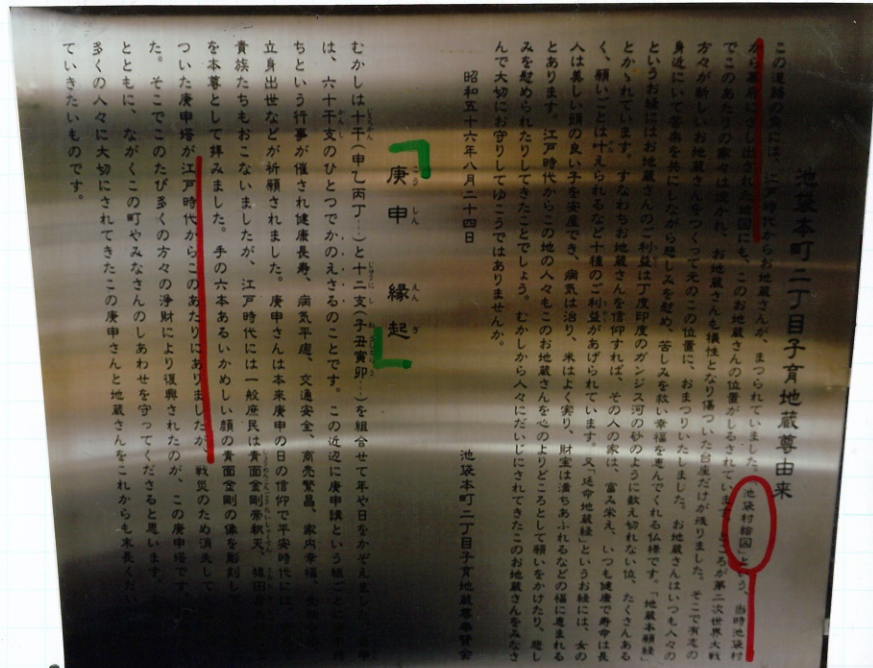
すごい。



## ② 氷川神社



「天保元年」1830年以前に倉建  
(江戸幕府家畜のころ)  
頼大空襲で社殿は焼失し、現在の物は1965年につくられた。



## ③ 庚申 (池袋本町子育て地藏尊)

郷土資料館で「みつけた池袋村絵図」のことが看板にもありました。  
江戸庚申塔は戦災のため消失してしま  
い、復興されたもの。  
町の人にとっても大切に  
されているんだな。  
これからはぼくも大切  
にしていきたいです。





# ⑤ 櫛型角柱型庚申塔



学校の近くの公園にあって初めて見たときは「お墓」かなと思いました。これは「享時寛文第二種曆」1662年に建てられた庚申塔です。(江戸幕府家綱の時代)



庚申塔が「どんなものかは③庚申の写真「庚申縁起」でみられます。

ずっと気になっていたことが分かってうれしいです。

ぼくのこんなに身近な所に350年以上も昔のものがのこっているなんておどろきました。





# ⑤この丘派な石垣はどここの?

## 問題

- この石垣はどこのお城のものだと思いますか?  
(とくちょう)
- 算木木責にしている所がある。
- 切込ハギのななめはん??
- ほとくの身長よりすこし高い。
- 所々にパイプがある。
- 石垣の上に木がいらはいる。

この高さでも、すまの無い石垣を登るのは大変だも!!

## 答え

- これは、ほとくの住み丁にある公園にある石垣です。ざんねんながらお城の石垣ではありませんが、石がびったりつまれて、いてりっはな石垣です。数百年前の石垣の技術が公園にある石垣にも生かされているのかな? これは誰がつくったのかな?





# 感想、まとめ

今回、お城について調べてみて、知らなかった事をたくさん知ることができました。

天守は殿様が住む家だと思っていたら、戦の時には籠城につかえたり、敵の侵入を防ぐ装備がたくさんあって、それぞれの城主や、築城家の工夫やちがいがあっておもしろかったです。

トラックやきかいがない時代に、人の力だけであんなに大きな城郭を築くなんてすごいと思いました。

徳川の平和な時代になると、お城の作りも戦の舞台から政治の場へかあっていて、

さらに時代がかわると、世界大戦で城が焼失してしまったり、戦後は、いらぬ物になってしまい壊される城がでてきたりして、今現存している城郭は色々な歴史をのりこえてきたすごいものなんだと思いました。

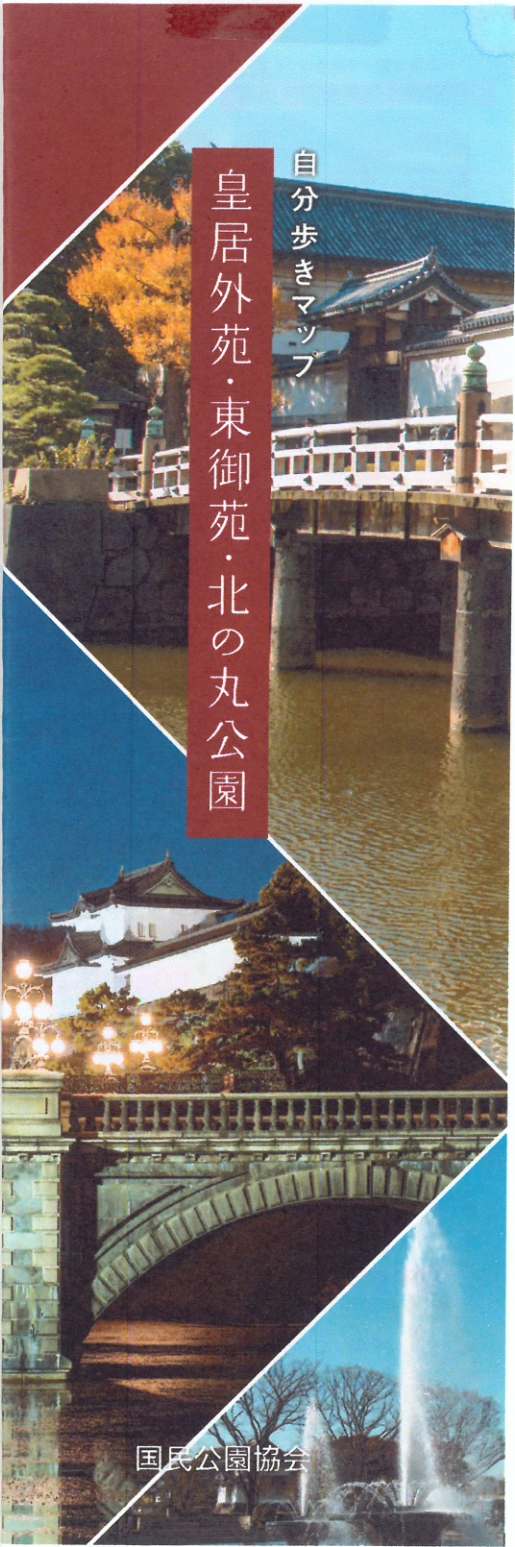
今回調べても答えがみつけれなかったものや、もっと書きたかったけど、書ききれなかったこともたくさんありました。

ぼくが住む近くにお城がなかったのはざんねんでしたが、古くからのこっている物がたくさんあることも知れてよかったです。

本を使って調べる学習はおもしろい!!

これからもたくさん本を読んでいきたいです。





自分歩きマップ  
皇居外苑・東御苑・北の丸公園

国民公園協会



豊島区立郷土資料館









参考文献

(Webページを参考にした場合) 作品名: お城!!日本の城!!

あなたの名前: まつら はるま

Webページを制作した人・団体名	Webページ名	Webサイト名	更新年月日	URL	アクセス年月日
東北新社	超入門お城セミナー	城びと	2019年2月27日	shinobito.jp	8月1日
?	大坂城跡印石場のアクセスとその説明	大坂城観光ガイド	?	osaka-castle.net	8月15日
豊島区	区の歴史・年表	豊島区	2015年2月25日	city.foshima.lg.jp	8月20日

参考にした施設

施設名

- 上池袋図書館
- 池袋図書館
- 豊島区立郷土資料館
- 重林寺
- 皇居(旧江戸城)
- 池袋本町公園